

【職業実践専門課程】

フォローアップ関連業務における

チェックポイント

【都道府県向け】

はじめに

■ 本資料の目的・趣旨

本資料は、各都道府県において、職業実践専門課程の認定を受けた学科（以下「認定学科」）のフォローアップ関連業務を行う際に参考にしていただくことを目的に作成しています。

職業実践専門課程のフォローアップにおいて、都道府県は、所管の認定学科の資料をまとめ、全ての学科の情報を取りまとめて提出いただくという役割を担っていただいています。学科提出資料や資料の取りまとめ方に不備がある場合には、認定学科がフォローアップを受けるのに時間がかかる、資料の再提出が必要になり国と都道府県の行政コストがともに増大するなどの問題が生じてしまいます。

また、一部の学科の提出資料が遅延したなどの理由で、当該都道府県の全ての学科の資料提出が著しく遅延した例も見られました。円滑な資料提出が可能になるよう、日頃から所管の認定学科とのコミュニケーションを持っていただくことも有効かもしれません。

都道府県の所管課の皆様におかれましては、フォローアップ関連業務を実施される際に、本資料でご紹介したチェックポイントをご確認いただき、効率的なフォローアップの実施にご協力いただければ幸いです。

■ 主な読み手

本資料は、各都道府県において、専修学校の職業実践専門課程のフォローアップ関連業務を担当されている方々を主たる読み手と想定して作成しています。

■ 注意事項

本資料は、文部科学省令和2年8月18日付事務連絡「職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦等の手続について（依頼）」をもとに作成しています。本資料で扱う提出資料の資料番号や名称については、年度により異なる可能性がありますのでご注意ください。

本資料で扱う提出資料の、令和2年度における資料番号と名称、本資料における表記は以下の通りです。

資料番号	資料名称	本資料における表記
別添7	職業実践専門課程の要件及び取組状況等確認シート	確認シート
別添9-1、9-2	「職業実践専門課程」既認定課程一覧	別添9
別紙様式4	職業実践専門課程認定後の公表様式	別紙様式4

1 【別添9】 「職業実践専門課程」 既認定課程一覧の作成

【別添9】 「職業実践専門課程」 既認定課程一覧（以下「別添9」）は、フォローアップ調査を適切に実施するための基礎となる重要な資料です。「別添9」に不備があると、所管の認定学科がフォローアップの審査から漏れてしまう等の事態が生じる可能性があります。「別添9」に記載いただいた学科情報をしっかりとご確認いただくことが重要です。

過年度は、以下のような例がありました。

不備の例

当該年度のフォローアップ対象学科のうち、「別添9」に記載されていない学科がある。

「別添9」上の学科名が最新のものではなく、提出資料に記載の学科名と一致していない。

「別添9」に、学科の名称変更の新旧状況が適切に記載されていない。

生じた問題・生じうる問題

- その都道府県における認定学科の資料提出状況を正しく確認できない。
- 記載されていない学科は、資料が未提出でも気づかれず、フォローアップの審査を受けられない。

- その都道府県における認定学科の資料提出状況を正しく確認できない。
- 同様の不備が複数の学科である場合、どの資料がどの学科のものか判断できず、フォローアップの審査ができない。

- 認定当初の学科名が記載されていないと、最新の学科名だけではどの学科であるのか判断ができないケースがある。
- 認定当初の学科名が記載されていないと、フォローアップの結果の追跡が難しくなる。

提出前に以下のポイントをチェックしましょう

【別添9-1】 (一覧表様式)											
「職業実践専門課程」既認定課程一覧[平成29年文部科学省告示第22号において告示された専門課程]											
記入上の注意点 ○認定学科は官報に掲載された順番通りに記載してください。(※全ての認定学科が対象です。) ○最初の認定時から名称変更等があった場合は、変更後の最新の名称を記載してください。 ○「過去の名称変更等」の欄には、名称変更等(昼夜の別を含む、以下同じ)があった課程の場合、名称変更等が告示された年度を記載してください。 ○「過去の名称変更等」の欄には、昨年度までに認定申請した課程の場合、廃止が告示された年度も記載してください。 ○今年度廃止又は要件不適合を申請する課程のセルは黄色に塗りつぶしてください。 ○「原初の名称等」の欄には、平成29年告示第22号で告示された名称を記載してください。ただし、現在までに名称変更等がなかったものは記載不要です。						都道府県： 担当番号： 電 話： 合 計： 校 学科					
都道府県	設置者	専修学校名	課程名	昼夜の別	修業年限	学科内のコース数(該当ある場合)	過去の名称変更等	原初(平成28年文部科学省告示第45号)の名称等			
								専修学校名	課程名	昼夜の別	修業年限
〇〇県	学校法人〇〇学園	〇〇専門学校	〇〇専門課程 〇〇科	昼間	二年	2	名称変更(令和元年度)	××専門学校	〇〇専門課程 〇〇科	昼間	二年
		△△専門学校	△△専門課程 △△科	昼間	三年		廃止(平成30年度)				
		▽▽専門学校	▽▽専門課程 ▽▽学科	夜間	二年						
	学校法人□□学園	□□専門学校	□□専門課程 □□科	昼間	二年	2	名称等変更(令和元年度)	□□専門学校	□□専門課程 □□科	夜間	二年
	学校法人☆☆学園	☆☆専門学校	☆☆専門課程 ☆☆科	昼間	二年	3	要件不適合申請予定(令和2年度)	☆☆専門学校	☆☆専門課程 ☆☆科	昼間	二年

- 当該年度のフォローアップ対象学科を全て記載している(当該年度のフォローアップ対象外の学科は記載していない)。
- 官報に掲載された順番で記載している。
- 最新の名称を記載している。

- 名称変更や認定取り消し、廃止等の状況を正しく記載している。
- 名称変更がある場合は認定当初の名称等を正しく記載している。
- 今年度廃止又は要件不適合申請する学科の行は黄色に塗りつぶしている。

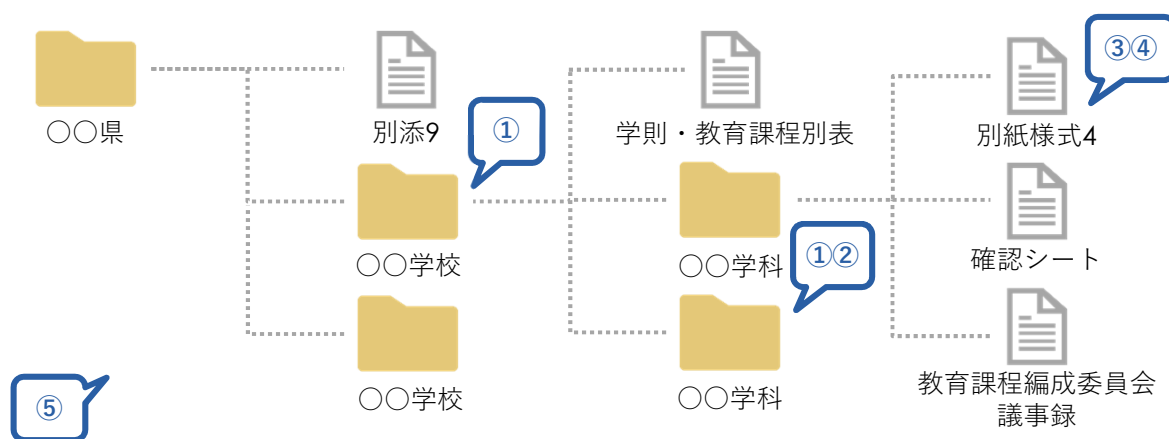
2 提出物の確認

認定学科からの提出資料は、フォローアップ調査において認定要件の充足状況を確認するための重要な判断材料です。提出資料に不備があると、認定要件を充足していても正しく確認することができず、充足していないと判断されてしまう可能性があります。認定学科からの提出資料に不備がないか確認いただくとともに、提出状況がわかりやすいフォルダ構成での提出をお願いします。

過年度は、以下のような例がありました。

不備の例	生じた問題・生じうる問題
<p>フォルダ名が最新の学校名・学科名になっていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「別添9」と突合できず、その都道府県における認定学科の資料提出状況を正しく確認できない。
<p>当該年度のフォローアップ対象学科のうち、資料を提出していない学科がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 認定要件の充足状況を確認できず、フォローアップができない（結果的に職業実践専門課程として不適合となる可能性もある）。
<p>必要な資料が全て提出されていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料の再提出に多くの行政コストが費やされる。
<p>資料がフォローアップ調査に使用できない（ファイルが印刷不可能な設定になっている、資料に空欄が多い、エクセル形式の資料の記入欄のサイズ調整をしておらず内容の一部が隠れてしまっている等）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 認定要件の充足状況を確認できず、フォローアップができない（結果的に職業実践専門課程として不適合となる可能性もある）。
<p>求められているフォルダ構成となっていない（学校法人単位で提出されている、認定学科ではなくその下のコース単位でしかまとめられていない等）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 認定学科の資料提出状況の確認に多くの行政コストが費やされる。 場合によっては、認定学科の資料提出状況を正しく確認できない。

提出前に以下のポイントをチェックしましょう



- ① フォルダ名が最新の学校名・学科名になっている。
- ② 当該年度の全てのフォローアップ対象学科が資料を提出している。
- ③ 必要な資料が全て提出されている。
- ④ 資料がフォローアップ調査に使用できる状態である。

- ⑤ 要項どおりのフォルダ構成になっている。

※学校フォルダ・学科フォルダが「別添9」の記載順（官報の掲載順）になるようナンバリングするなどの工夫を行うことで、学科がそろっているかのチェックも容易となります。

文部科学省 総合教育政策局 生涯学習推進課 専修学校教育振興室

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3丁目2-2

TEL：03-5253-4111（代表）

<http://www.mext.go.jp/>

本書は、文部科学省委託事業として三菱総合研究所が実施した
令和二年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」の成果を
取りまとめたものです。

2021年3月作成
